

「アフリカの角」飢餓救済キャンペーン2006年度寄付報告

国連WFP協会では昨年9月以来、ケニア、ソマリア、エチオピア等を含む「アフリカの角」地域を支援すべく、「アフリカの角」飢餓救済キャンペーンを実施してきました。

多くの一般個人・企業・団体の皆さまのご賛同を得て、2006年末時点で総計約6000万円のご寄付をいただきました。つきましては2006年12月末日までのご寄付を、各方面の個人・団体別にご報告いたします。

一般団体	15,046,808円
評議員	35,456,956円
賛助会員	3,652,592円
一般企業	5,536,100円
寄付額合計(2006.12.31現在)	59,692,456円

上記のご寄付につきましては、昨年末以来WFPローマ本部を経由して、ケニアを中心とした「アフリカの角」地域各国に、逐次送金しております。皆様からいただいたご支援は、子どもたちへの学校給食や乳幼児・妊婦などに対する栄養補給などに使われます。改めまして、各方面からのご支援・ご協力を心より感謝申し上げます。



「アフリカの角」地域では昨年より深刻な干ばつが問題となっていました。年末にかけ、今度はケニアやソマリアなどで大規模な洪水が発生しました。洪水により、ケニアでは北部・北東部の6ヶ所の地域で、およそ56万3千人が直接的な被害に遭い、特に丹羽宇一郎国連WFP協会会長が8月に視察したソマリア国境近くのダダーブ難民キャンプは大きな被害を受けました。道路が遮断され、さらに衛生状態の悪化により病気が蔓延したことから、WFPは緊急援助として食糧やその他生活物資を空中投下し、いち早く対応。状況は次第に落ち着いてきてはいるものの、干ばつや洪水で家畜などの生活基盤を失った人々にとって、生活の立て直しは容易ではなく、時間がかかりそうです。

一方、ソマリアでは洪水に続き、内戦が激化。2月以降、首都モガディシュから20万人以上が家を捨てて避難する事態となり、人道支援の必要性が高まっています。

「アフリカの角」への支援は、今後も引き続き行ってまいります。皆さまの変わらぬお力添えをお願い申し上げます。



子どもの飢餓撲滅を目指すチャリティイベント

「ウォーク・ザ・ワールド ～地球のハラペコを救え。～」のご案内



ゲスト: ジャガー横田さん (女子プロレスラー)
知花くららさん (2006ミス・ユニバース世界大会第2位)



- 日時: 5月13日(日)10:00～
- 場所: 横浜みなとみらい地区
- 世界24の時間帯で同日・同時刻に開催される世界規模のチャリティーイベント
- 昨年は世界118カ国で76万人が参加
- 寄せられた募金で、飢餓に苦しむ世界の子どもたち給食を援助。

世界で3億5千万人以上といわれる子どもたちの飢餓の撲滅を掲げ、世界各国で同日・同時刻に実施される地球規模のチャリティーイベント、「ウォーク・ザ・ワールド」が日本でも開催されます。5キロ・10キロのコースをいっせいに歩くことにより、世界の飢餓問題に対する認識を高めると共に、参加費の一部を募金することを目的としています。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。



写真提供 株式会社シンクバンク

ジャガー横田さん



(c) JIL-STUDIO

知花くららさん



■ イベント詳細

日時: 2007年5月13日(日) 受付 9:00～ 開会式 9:30～ スタート10:00
集合場所: 横浜みなとみらい地区 臨港パーク(みなとみらい線みなとみらい駅より徒歩7分)
参加費: 1,000円(募金・参加賞・保険を含む)

* 小学生未満は無料(ただし、チャリティーへの参加、参加賞、保険はなし)

種目: 5キロコース、10キロコース

お申込み: インターネットによるお申込みスポーツエントリー

HP <http://www.sportsentry.ne.jp/> (携帯可)

電話によるお申込み 0570-037-846(通話料は利用者負担となります)

受付時間: 平日10:00～17:30、土曜 12:00～17:00

参加申込に関するお問合せ先:

2007ウォーク・ザ・ワールドエントリー事務局 TEL: 0120 - 711 - 951(平日10:00～17:30)

詳細はこちらをご覧ください。 <http://www.jawfp.org/event20070513.html>



深まりつつある日本のNGOの連携

WFPが難民キャンプなどの現場で活動をする上で欠かせないのが、NGOとの連携です。さまざまなNGOが、現場でWFPの食糧の配給作業などを行ない、WFPの食糧援助活動を支援してくれています。現在、WFPは世界中で2000以上のNGO団体と協力関係を築いていますが、最近、日本のNGOとの連携も深まりつつあります。

WFPと連携した日本のNGOの数は、2005年には7団体で、主にアフリカ・アジアの14カ国で連携して食糧配給を行いましたが、2006年には10団体、17カ国に増えました。特にモデルケースとなっているのが、近年紛争が続いて荒廃したスーダン南部においての協力関係です。スーダン南部では、ジャパン・プラットフォーム(NGO、経済界、政府が合同で設立した国際人道支援システム)が中心となり、NGO6団体(アドラ・ジャパン、難民を助ける会、ピース ウィンズ・ジャパン、ワールド・ビジョン・ジャパン、

ジェン、日本国際ボランティアセンター)が支援活動を行うことを決定しました。

このうち、アドラ・ジャパンとは、スーダン人の難民・国内避難民が故郷に帰ってくる途中で立ち寄る一時滞在センターで、すでにWFPの食糧配給を行ってもらい、食糧倉庫の管理も任せています。また、ワールド・ビジョン・ジャパンとは、浄水装置及びトイレの設置作業において、コミュニティの参加を促進するために、WFPの食糧を活用しています(フード・フォー・ワーク)。ピース ウィンズ・ジャパン及び難民を助ける会も現地の合同調査に参加し、現在、具体的にどうやって連携していくか調整しているところです。

援助現場のニーズを細かく汲み取るNGOの高い能力とWFPの国際機関としてのノウハウが合わさり、今後スーダンの復興活動が順調に進むことを願ってやみません。

ワールド・ビジョン・ジャパン
活動地域: アッパーナイル州

- 帰還民・国内避難民などに対してWFPの食糧を配給。学校給食も実施中。
- 浄水装置・トイレの設置事業をWFPと共同で実施中(工事に参加した者に労働の対価としてWFPの食糧を配給)

アドラ・ジャパン

活動地域: アッパーナイル州

- 一時滞在センターで故郷へ帰還する難民に対しWFPの食糧を配給(エチオピアからの帰還民約2万人を対象)
- 食糧倉庫の管理も行う。

ピース ウィンズ・ジャパン

活動地域: ジョングレイ州

- 井戸とトイレの設置事業をWFPと共同で行うことを検討中

難民を助ける会

活動地域: 東エクアトリア州

- 井戸とトイレの設置事業をWFPと共同で行うことを検討中





無二亦寺 ～檀信徒と共に～

無二亦寺(むにやくじ、国連WFP協会評議員)は茨城県ひたちなか市にある、水戸藩第二代藩主徳川 光圀(水戸黄門)により寺名を授かった寺です。副住職の宇中智伸さんは、檀信徒を巻き込み、さらには地域ぐるみのWFP支援活動を行っています。



「WFPの活動に協力させていただくことで仏の教えを檀信徒と共に実践できることに喜びを感じています。」
(宇中智伸さん)

WFP支援のきっかけは？

仏教は慈悲による布施行を第一としており、相手の悲しみ・困難を理解し救いの手を差し伸べ、多くの困っている人々のために施すという実践する教えです。苦行や法要を通して思い悩んでいた6年ほど前、WFPのスーダンにおける活動をTVで知り募金活動を開始しました。

支援の内容は？

檀信徒からいただくお布施の一部、また、毎年秋に行う「難民救援チャリティーコンサート」等の様々なイベントにて募金活動を行い、WFPに寄付しています。お布施とは「寺への支払い」と思われがちですが、本来は最も必要としている人に分けるべきものであると考えます。檀信徒からは、お布施が国際支援に効果的に使われているのが嬉しいとの声を多くいただきます。

無二亦寺へのお問合せ先：

muniyaku@basil.ocn.ne.jp

(副住職 宇中智伸さんメールアドレス)



2006年5月、ブータンにおけるWFPの学校給食の現場を視察するフィールドツアーに参加した宇中さん。この体験をもとに、飢えに苦しむ人々の状況やWFPの活動を伝えています。



2006年10月「第4回難民救援コンサート」にて飢餓に苦しむ子どもたちの様子を寸劇を交えて分かり易く説明



ひたちなか市立市毛小学校6年生を対象にした国際理解の授業



「国連WFP協会 横浜支部のつどい」開催



横浜支部のつどいの様子

3月9日(金)、パシフィコ横浜国際協力センターで「国連WFP協会 横浜支部のつどい」が開催されました。会場には、WFPを支援して下さる評議員や賛助会員の企業並びに一般の方、ボランティアグループ、学生など合わせて約50人の方々が集いました。

高梨昌芳支部代表のあいさつ後、企業の国際貢献活動としてブータンの学校給食プログラムに協力している(株)ピープルフォーカス・コンサルティングから、2005・6年に実施した現地視察の報告を伺いました。参加者から「今日は現地の生の話を聞けてよかった」と、感想をいただきました。

立食パーティには、玉村美保子日本事務所代表も飛び入り参加され、参加者相互の交流や旧知の顔合わせなど、なごやかなひとときがもたれました。



今後の予定

5月2日(水) パネル展「WFPの食糧援助活動～世界の明日をつくる子どもたちのごはん～」

場所:横浜タカシマヤ6Fばらの広場

開催期間:5月2日(水)～8日(火)

開館時間:10:00～20:00(8日最終日は17:00まで)

入場料:無料

5月13日(日)「ウォーク・ザ・ワールド」を横浜、みなとみらいで開催。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

5月17日(木) ジャン・ジャック・グレース上級事務局次長の講演会(仙台)

人道支援の現場を指揮して来たジャン・ジャック・グレースがこれまでの10年間を振り返り、現場の舞台裏を語ります。

5月26日(土) Love - Tコレクション ファッションショー 13:00～15:00～の2回(予定)

LOVEをテーマに今年は約200のブランドが参加しオリジナルTシャツを制作。

タカシマヤの各店舗で販売し、売り上げの一部をWFPに寄付します。

Tシャツを着てチャリティーに参加しよう!

場所:横浜タカシマヤ 1F 正面入り口

キャンペーン期間:07年5月23日(水)～6月5日(火)(予定)

*ファッションショーの開催は26日のみとなります。



昨年のLove-Tコレクション

発行: WFP日本事務所
特定非営利活動法人 国連WFP協会